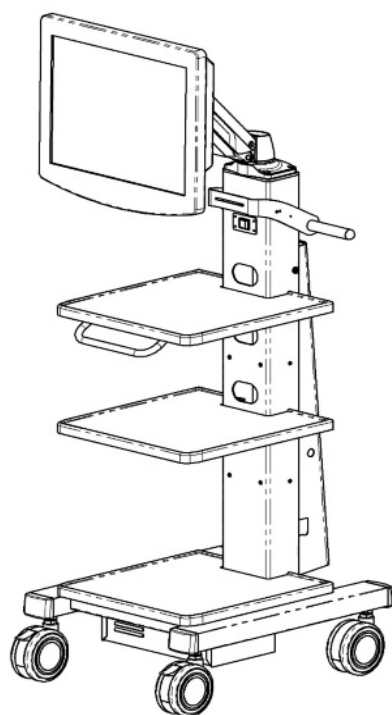
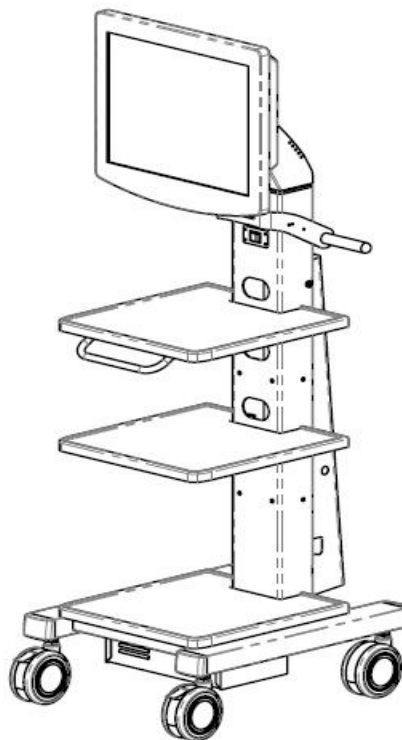


UNIVERSAL CART LIGHTY-II

フジフレックス 医療用モニターカート for LCD MONITOR



LTY-4001 : 高荷重型アーム仕様



LTY-5000 : 簡易LCDスタンド仕様

ライティーⅡ (安全トランス内蔵型)

取扱説明書

FUJIFLEX

はじめに

はじめに




この取扱説明書は、ユニバーサルカート「ライティール II」の使用方法について説明します。

本製品は、カメラ・内視鏡等各種システムおよび各種周辺機器と組み合わせて使用します。各システム及び各周辺機器の使用方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

表記の規則

本取扱説明書では、操作の説明をわかりやすくするために、本文中では次のような表記の規則を使っています。

■ 一般の表記

表記	説明
	潜在的に、人に危害を与える危険を示す記号です。
 警告	回避しないと、死亡事故または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
 注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。
注意	回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
※	注釈や補足を示します。



安全についての大切なお知らせ

安全についての大切なお知らせ



1. 使用目的

本製品は、カメラ・内視鏡等各種システムおよび各種周辺機器の設置、移動、保管を目的としています。
この目的以外には使用しないでください。

2. 安全

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、充分理解されてから、指示に従ってご使用下さい。尚、個々の操作や処理における安全上の事項は、それぞれの項目に「 警告」「 注意」と示してあります。

3. 警告

検査および処置手術を行う上で、安全上特に守っていただかなければならない事項は、「 警告」「 注意」と識別表示してあります。警告情報をよく読まれ、理解されてから正しい手順で行ってください。

警告

誤った使用や操作は、患者・術者または装置の近くにいる人を傷つけるおそれがあります。
この取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

※誤った使い方をしても機器の損傷だけですむ場合は、「注意」と識別表示してあります。

4. 設置

感電事故や火災、機器の落下を防止するため、次の注意事項をお守りください。

- 1) 本システムは、取扱店サービスマンが設置を行う構造となっています。サービスマン以外の方は、設置を行わないでください。
- 2) 感電事故の防止
 - ・電気手術器等、他の装置の電源は、カートからとらないでください。
 - ・2台目のカート電源を1台目のカートからとらないでください。
 - ・3芯2芯変換プラグは、確実な保護接地ができないため、使用しないでください。
 - ・カートのコンセントには、システムを構成する機器以外は、つながないでください。
- 3) 周辺機器の落下防止

注意

機器が落下するおそれがあります。
周辺機器を重ねて載せないでください。
周辺機器の足が、棚板の内側に確実に収まるように載せてください。

4) 機器の設置

警告

火災、感電の原因となります。

電源は、AC100Vをお使いください。

カートのプラグ及びコンセント、接続機器のプラグは定期的にはほこりを取ってください。

感電事故を起こすおそれがあります。

電源プラグは、保護接地付コンセントに接続してください。

医用安全規格に適合した周辺機器を使用してください。

火災や爆発を起こすおそれがあります。

可燃性ガス雰囲気中では使用しないでください。

注意

機器や棚板が落下してケガをするおそれがあります。

棚板の移動や機器の設置は2人で行ってください。

棚板の移動や機器の設置はカートのキャスターをロックして行ってください。

注意

定格を超えると自動的に電源が切れます。

接続する機器の定格出力を確認の上、必ず定格以内で使用してください。

5. 機器の組み合わせ

カメラコントローラ、内視鏡、超音波観測装置は、周辺機器と組み合わせて使用します。感電事故を防止するために、取扱店サービスマンが推奨しない周辺機器は絶対に使用しないでください。

6. 臨床手技について

本製品は、手技について十分な研修を受けられた方がご使用になることを前提としております。この取扱説明書では、臨床手技には立ち入っておりません。

臨床手技については、諸先生方のご専門の立場から判断していただくようお願いいたします。

7. 使用前の点検

不測の事態を回避し、機器の性能を十分に発揮してお使いいただくために、異音やぐらつきなどがないか、使用前の点検を行ってください。点検の結果、異常があった場合は使用せず、直ちに取扱店にご連絡ください。

8. 高電圧

本機の内部には、電圧の高い部分があります。取扱店サービスマン以外の方は、内部に触れないでください。


9. 異物・液体

内部に異物や水、薬品などが入ると火災・感電の原因となります。万一内部に液体が入った場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、取扱店にご連絡ください。

10. メンテナンス

長期間使用しておりますと、機器も傷んでまいります。少しでも機器に異常を感じた場合は、点検を受けてください。また機器の分解、改造は絶対に行わないでください。

11. カートの移動

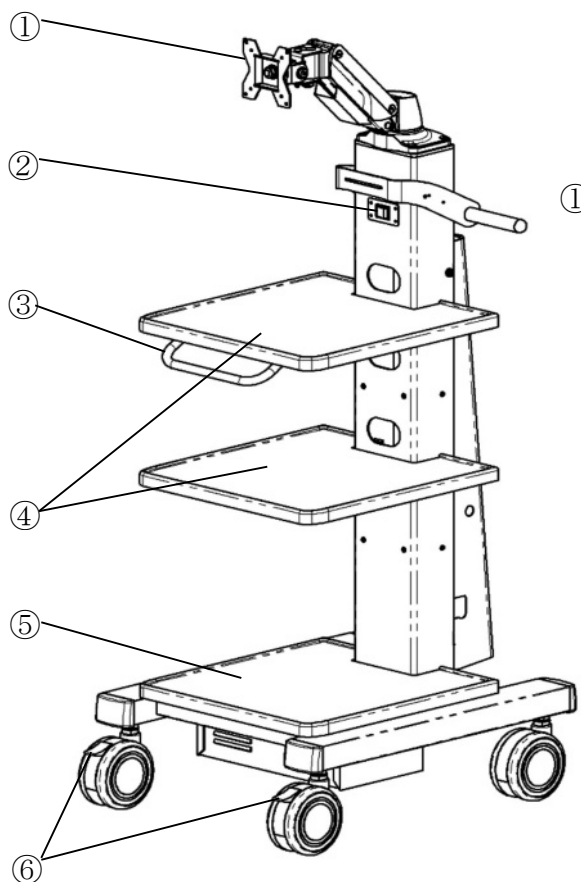
 注 意
カートが転倒してケガをするおそれがあります。 段差がある場所での移動は2人で行ってください。

12. 電源の復帰

注 意
電源が正常に復帰できないおそれがあります。 サーキットプロテクターを復帰する時は、電源スイッチをOFFの状態にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。 サーキットプロテクターの復帰スイッチは遮断動作後、10秒以上経過してから押してください。

各部の名称と機能

各部の名称と機能



①

【LTY-4001の場合】モニターアーム

LCDモニターを取り付けます。

アームが上下、左右に可動し、モニター画面を見やすいポジションに選択できます。

【LTY-5000の場合】LCDスタンド

①

LCDモニターを取り付けます。

傾斜および、 $\pm 45^\circ$ 左右に回転し、モニター画面を見やすいポジションに選択できます。

②電源スイッチ

カート本体及び電源タップの電源を一括ON/OFFできます。

③フロントハンドル

カートの位置調整に使用します。

④可動棚 (ウォッシュャブルトレイ)

軽量素材のウォッシュャブルトレイは、工具を使わずに容易に脱着でき、水洗いが可能です。また設置位置は収載機器の高さに合わせて調整できます。(150mm間隔)

⑤補助棚 (ウォッシュャブルトレイ)

小物などを載せます。

⑥キャスターロックレバー (フロントキャスターのみ)

キャスターの回転と軸の回転をロックします。

⑦リヤハンドル

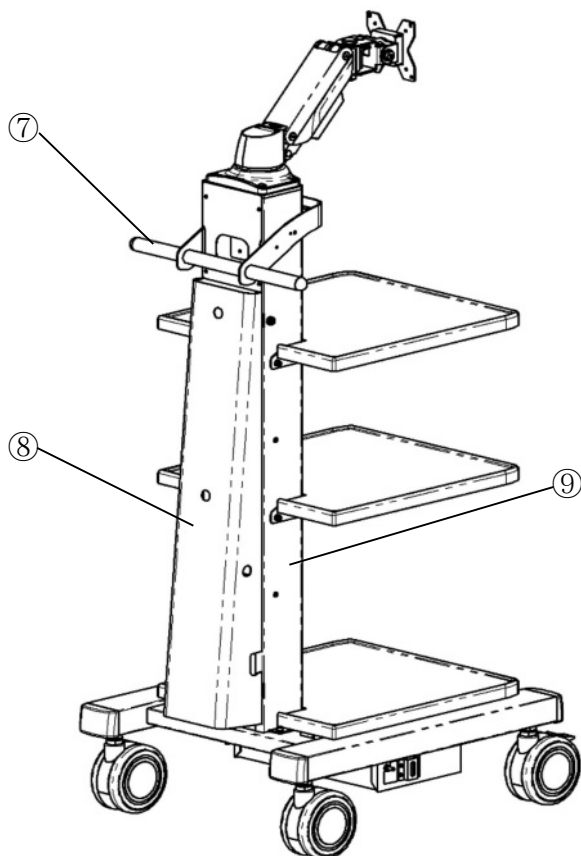
カートの移動時に使用します。

⑧背面パネル

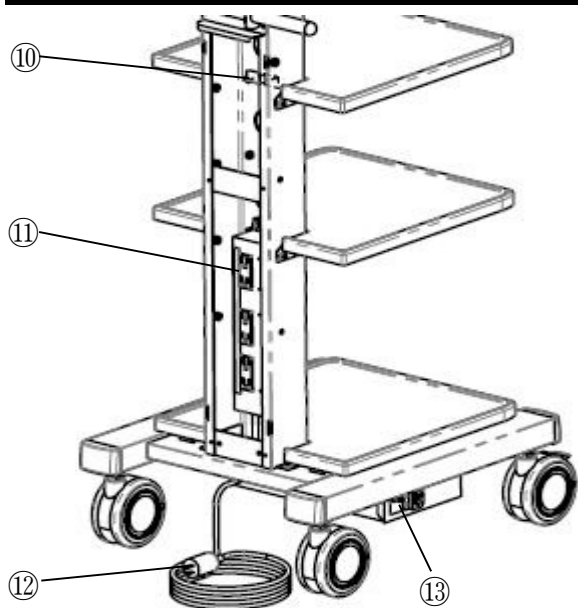
収載機器の配線をカバーします。またコンセントの電源タップへの接続を制限します。

⑨支柱フレーム

支柱フレームの内部に収載機器のコード類が収納できます。



各部の名称と機能



⑩コード掛け
収載機器のコード類を掛けることができます。

⑪電源タップ
収載機器の電源プラグを接続します。

⑫電源プラグ
保護接地付コンセントに接続します。

⑬等電位化端子
等電位プラグを接続します。

仕様書(諸元)

品名 ユニバーサルカート ライティー II (安全トランス内蔵型)

型式

LTY-4001	LTY-5000
----------	----------

本体寸法 (mm)

W545×D660×H1507	W545×D660×H1508
-----------------	-----------------

棚板寸法 (mm)

W435×D400 (有効奥行き)

本体重量 (kg)

68	53
----	----

許容荷重 (kg)

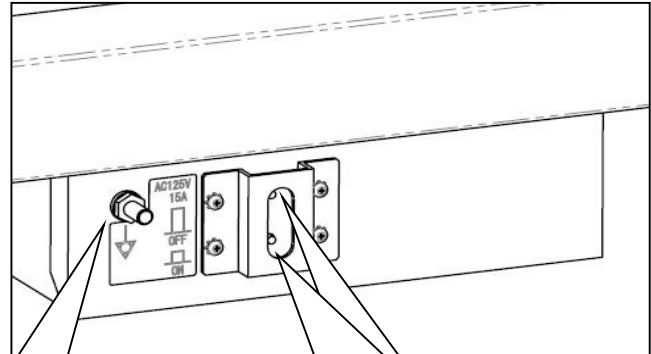
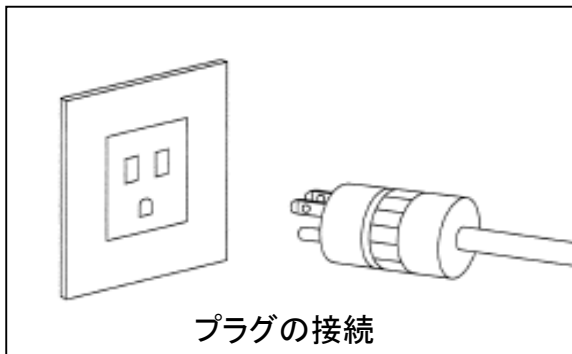
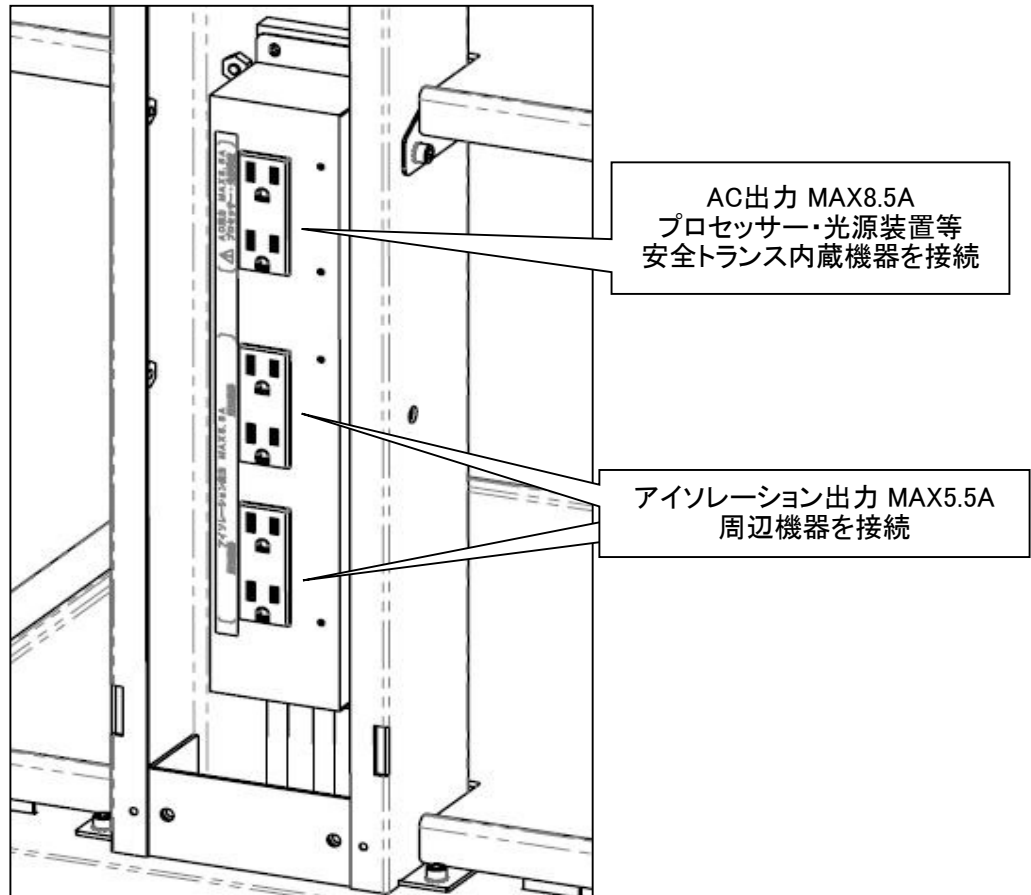
LCDモニター	15	15
可動棚	20	
補助棚	20	
合計最大	50	

電源部

定格入力	AC100V 50/60Hz 15A 保護接地付プラグ
定格出力	最大14A
保護接地付コンセント	6口
	・AC出力 2口, 最大8.5A
	・アイソレーション出力 4口, 最大5.5A
サーキットプロテクター	125V/15A
トランス	入力100V 出力100V/6A
一括ON/OFF電源スイッチ搭載	

使用方法

1. 電源の接続



カートの電源プラグは必ず、保護接地付コンセントに接続してください。

電源ボックスのコンセントには、プロセッサ及び光源装置等、安全トランス内蔵機器用の「AC出力」と、その他周辺機器用の「アイソレーション出力」があります。

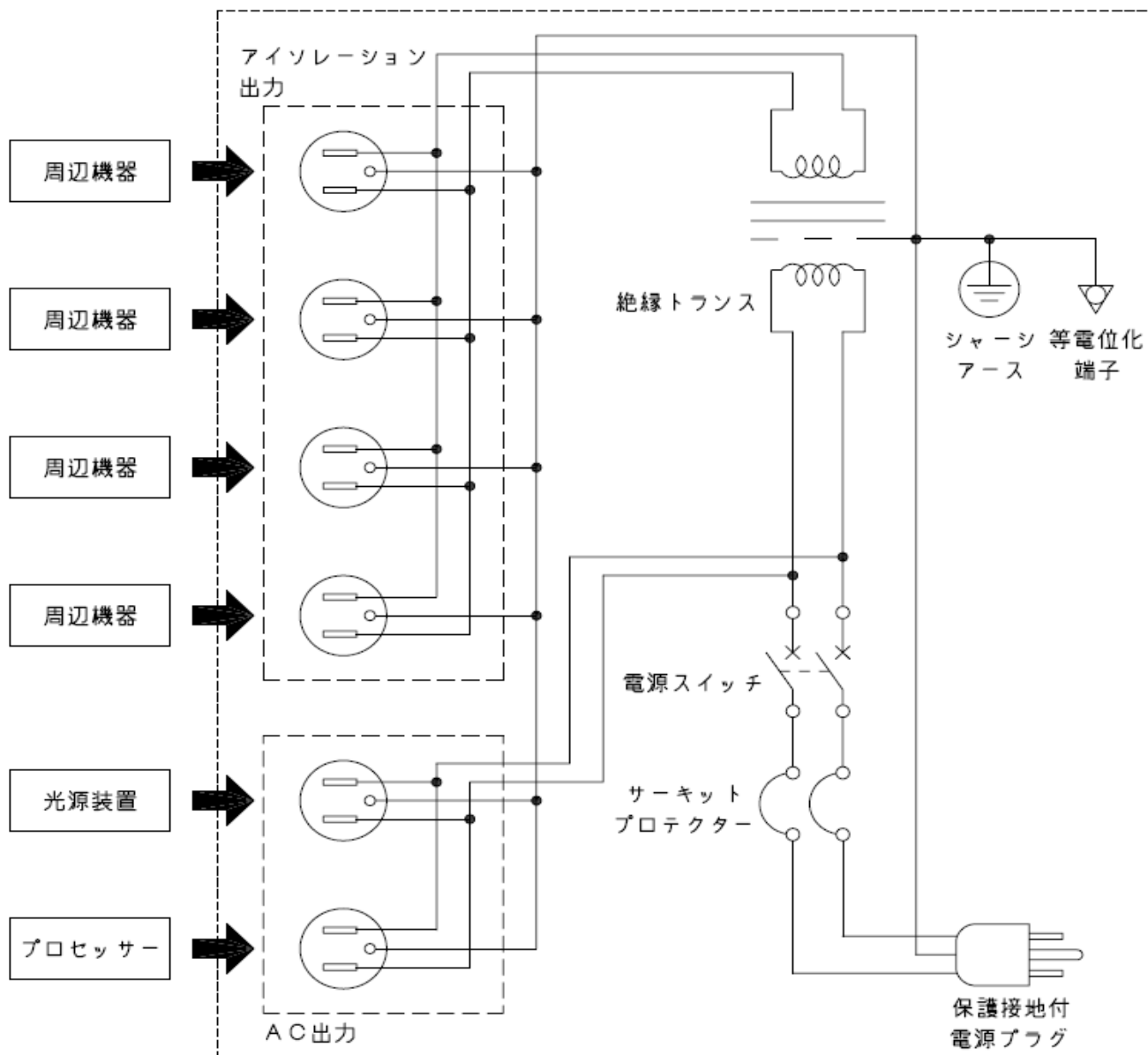
機器の電源接続はカートのメインスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いた上、接続する機器の電源容量を確認し、指定のコンセントに接続してください。

サーキットプロテクターを復帰する時は、カートのメインスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。サーキットプロテクターの復帰スイッチは遮断動作後、10秒以上経過してから押してください。

収載機器の等電位プラグは、電源ボックスの等電位化端子と必ず接続してください。

まちがった使い方をされると、感電事故や火災の原因になるおそれがあります。くれぐれもご注意ください。

2. システムの電源の接続



⚠ 警告

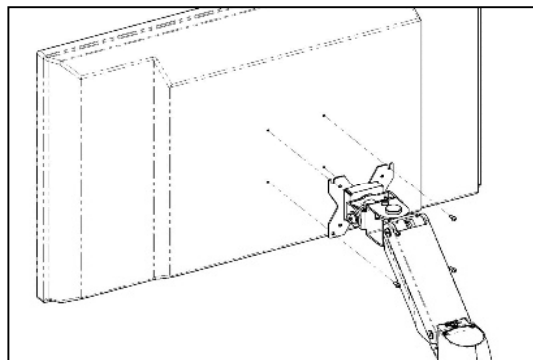
電源プラグは、保護接地付コンセントに接続してください。
電動手術器の電源は、別の回路からお取りください。
医用として安全性が確保されていない周辺機器は、必ずアイソレーション出力をご使用ください。
収載機器の等電位プラグは、電源ボックスの等電位化端子と接続してください。

3. LCDモニターの設置

【高荷重アーム仕様 : LTY-4001】

①モニターの設置

VESA規格75×75mm/100×100mmに対応しています。
ご使用されるモニター背面のねじ穴ピッチが75mmでも、
100mmでもそのまま取り付けできます。
(ただし、75mmピッチでも取付面が凹んでいる場合、そのまま
取り付けができない場合がございます。)
付属のM4×10ねじ、又はモニター付属のねじ4本を使用し、
モニターを固定します。

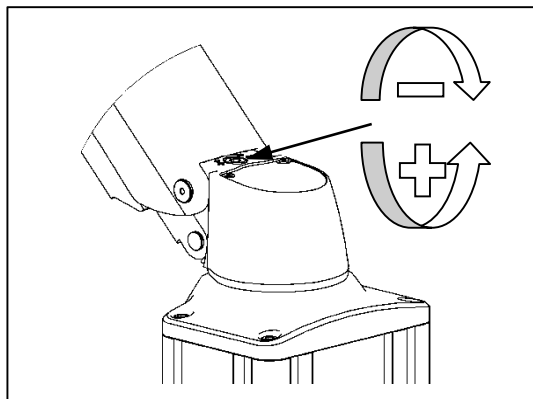


⚠ 注意

モニターが落下してケガをするおそれがあります。
モニターの取り付け、取り外し時はキャスターをロックして行ってください。
取付作業は必ず2人で行い、確実にねじを取り付け、緩みがないか確認してください。

②モニターアームの上下トルク調整

モニターの重量に合わせてアーム上下のトルク調整を行います。
モニターが下がる場合には反時計回り、モニターが上がる
場合には時計回りに付属の六角レンチで調整してくださ
い。



注意

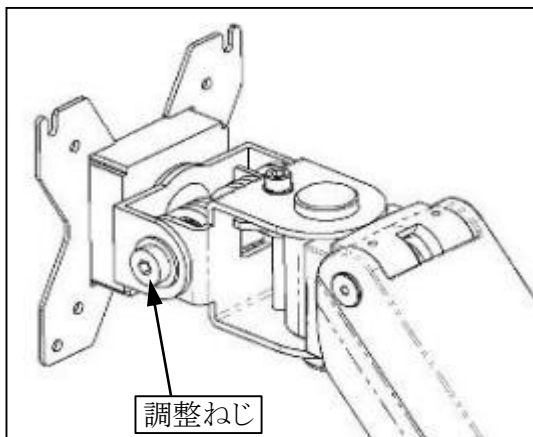
モニターアームが破損するおそれがあります。
締め過ぎに注意してください。

③モニターアームのチルト調整

取り付けしたモニターが下がる場合には、モニターの重量に合
わせてチルトのトルク調整を行います。
調整ねじの締め付けを強くしてください。この時、左右の調節ね
じの締め付けが均等になるよう注意してください。

注意

モニターアームが破損するおそれがあります。
締め過ぎに注意してください。

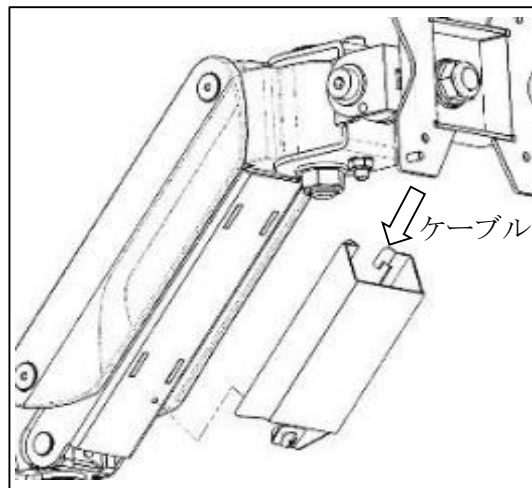


使用方法

④ケーブル収納

ケーブルカバー内にケーブルを収納し、ケーブルカバーをモニターアームの角穴に爪で引っ掛けた後、ねじ(脱落防止機能付き)で固定します。

※ケーブルはアーム可動範囲を考慮し、余長を持たせた状態で取り付けてください。

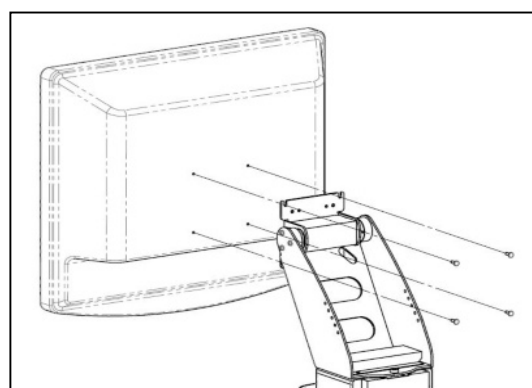


4. LCDモニターの設置

【簡易LCDスタンド仕様 : LTY-5000】

※本製品はVESA規格75mm×75mm/100×100mmに対応しています。(ただし75mmピッチで取付面が凹んでいる場合、そのまま取付できない場合がございます)

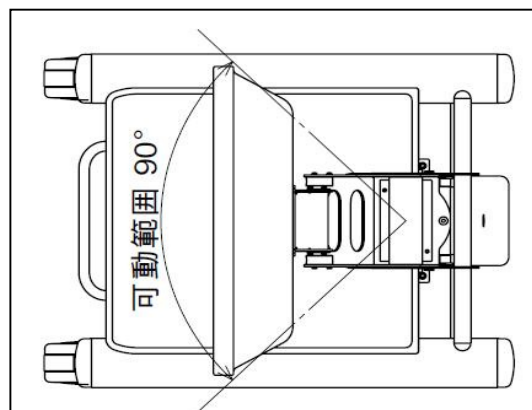
付属のM4×12ねじまたはモニター付属のねじ4本を使用し、モニターを固定します。



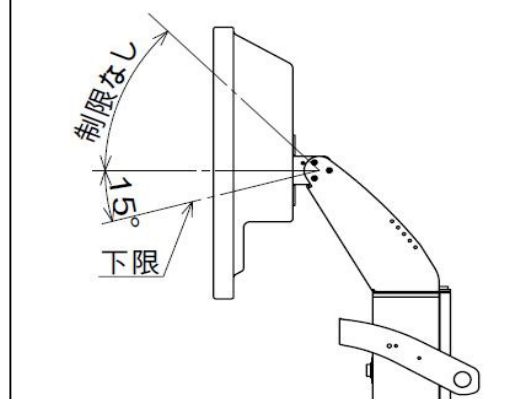
5. 簡易LCDスタンド

【簡易LCDスタンド仕様 : LTY-5000】

①正面を中心に90° の範囲で、モニターの左右方向の回転が可能です。



②右図の範囲でモニターを傾斜させることが可能です。



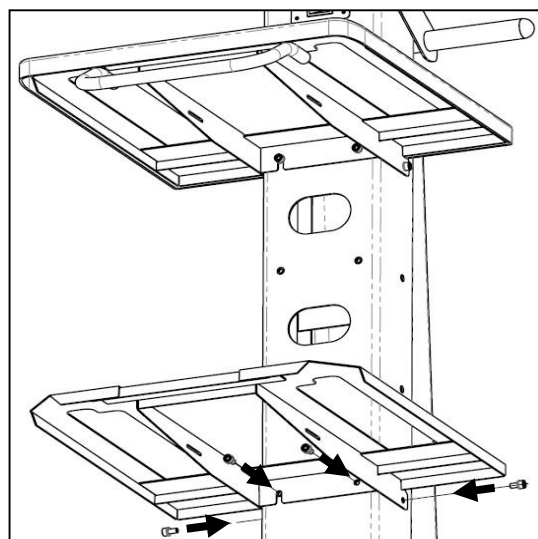
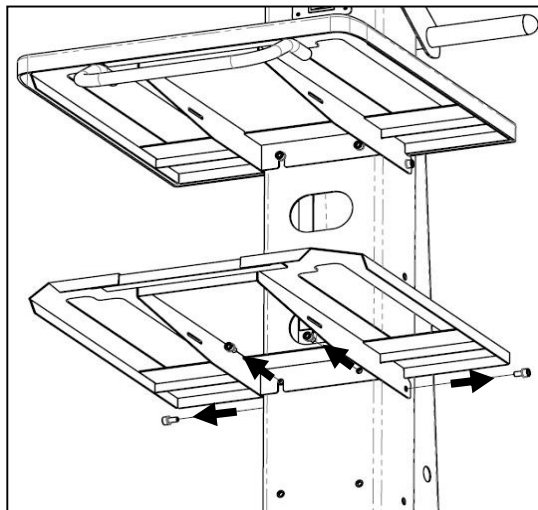
6. 可動棚の移動

- ① ウォッシュャブルトレイを上を持ち上げて取り外します。
- ② 1人が支持金具を保持し、もう1人がねじ4本を取り外します。
※5mm巾の六角レンチが必要です。

⚠ 注意

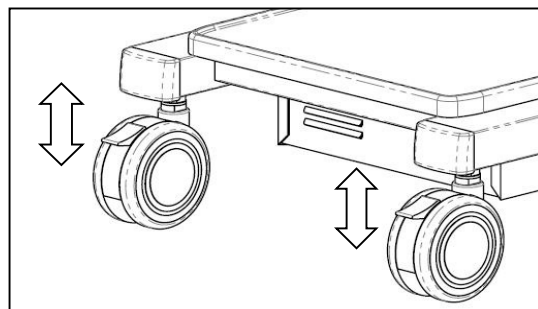
棚板が落下してケガをするおそれがあります。
棚板の移動は2人で行ってください。

- ③ 支持金具を移動し、ねじ4本を締め付けて固定します。



7. カートの固定

- ① 前方2箇所のキャスターロックレバーを下に押しつけて固定します。キャスターの回転と、軸の回転の両方が固定されます。
- ② 固定を解除する場合は、キャスターロックレバーの上部を押すか、レバーをはね上げてください。



⚠ 注意

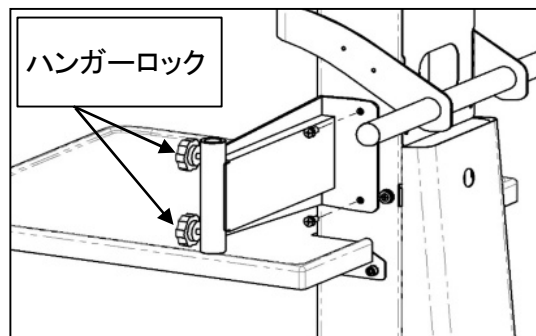
カートが転倒してケガをするおそれがあります。
システムの設置時、および使用時はカートのキャスターをロックしてください

オプション部品の取り付け

1. ハンガーブラケットの取り付け

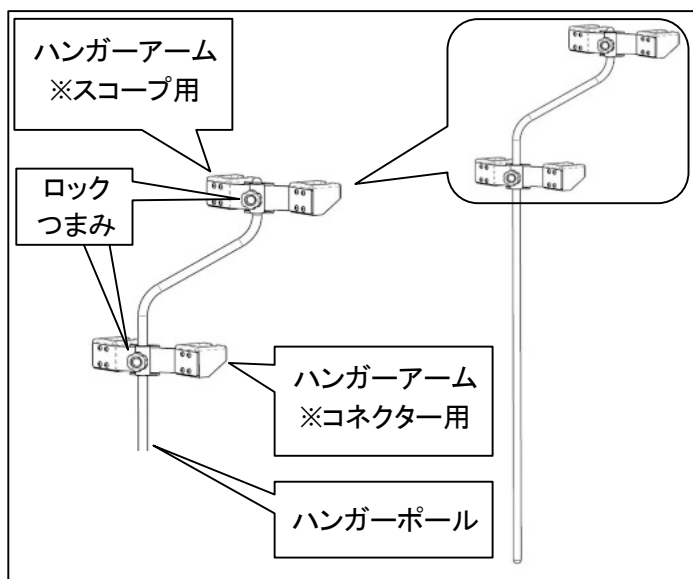
①ハンガーブラケットに付属のねじを使用し、ハンガーブラケットを取り付けます。
※ハンガーブラケットはカート正面向かって右側のみ取付可能です。

②ハンガーロックつまみを締め付けると、スコープハンガーを任意の高さで固定できます。

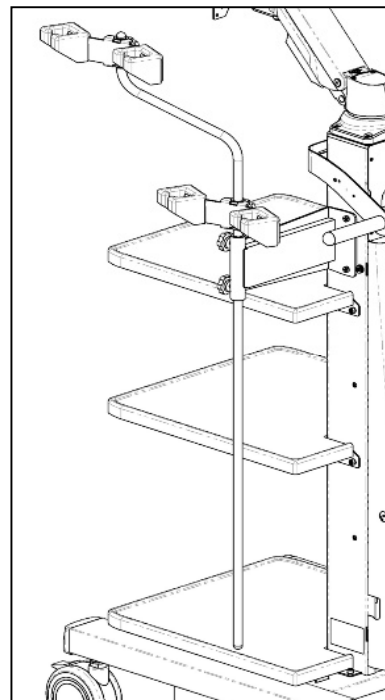


2. スコープハンガーの取り付け

①ハンガーポールにハンガーアームを差し込んで、ロックつまみを締め付けて、任意の位置で固定します。



②組み立てたものをハンガーブラケットに差し込んで、ハンガーロックつまみを締め付けて、任意の高さで固定します。
ハンガーアームは使用する内視鏡に合わせて、高さおよび角度を調整し、ロックつまみを締め付けて固定します。



⚠ 注意

カートが転倒してケガをするおそれがあります。
移動させる際は、ハンガーから内視鏡を外してください。

注意

内視鏡が脱落するおそれがあります。
カートのキャスターをロックして行ってください。
高さを調整する場合は、ハンガーを片手で押さえてハンガーロックつまみを緩めてください。
移動させる際は、ハンガーから内視鏡を外してください。

1. 使用後のお手入れ

⚠ 警告

火災、感電の原因となります。
カートのプラグ及びコンセント、接続機器のプラグは定期的に乾いた布で拭き、ほこりや汚れを取ってください。

ほこりがたまったり汚れがついた場合には、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。カート表面の汚れがひどいときや落ちにくい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤を少量湿らせたガーゼで、軽く拭いてください。

注意

カートの表面を有機溶剤で拭かないでください。変質・変形の原因となります。

故障の原因となります。
指定された方法で、清掃を行ってください。
本体は流水洗浄や浸漬消毒をしないでください。
消毒、殺菌、滅菌は行わないでください。

2. 保管方法

本製品は、下記の条件を満たすところで保管してください。

保管条件

温度： $-10^{\circ} \sim 45^{\circ} \text{C}$
湿度： $30 \sim 95\%$ (ただし、結露状態を除く)
気圧： $70 \sim 106 \text{ kPa}$
場所： 直射日光のあたらない所

※長時間ご使用にならなかった場合は、設置時に行った動作確認をもう一度行ってください。

注意

故障の原因となります。
保管条件に満たさない場所には保管しないでください。
ケーブルに力の加わらない状態で、保管してください。

3. メンテナンス

6ヶ月に1度はねじのゆるみやキャスターの異常等、点検を行ってください。

製造元 : 株式会社フジフレックス <http://www.fuji-flex.co.jp>

お問い合わせ先 : カスタマーサービス 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1067 番地25

TEL.0743-72-6788 FAX.0743-72-0388

LIGHTY-II 取扱説明書 (第8版)
2024.07.25